

| 【Plan】計画 / 【Do】実施 | | | | | | | | | | | | | | | 【Check】評価 / 【Action】改善 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|----------------|--|------------------------|----|-------|----|-------|----|------------------|------|----------------------|----|-------|----|------------------------|-------------|-------------|----------------|-------|-----------------|----------|-------------|--|------|--|------|---|---|----|--|
| 施策名 | 事業名 | 事業・取組概要 | 事業評価の活動指標(目標・実績) | | | | | | 事業評価の成果指標(目標・実績) | | | | | | H29年度 | | | H30年度 | | | 事業成果の評価 | | 予算・コストの評価 | | 見直しの方向性(担当者評価) | | | | | |
| | | | 指標名等 | | H29年度 | | H30年度 | | 指標名等 | | H29年度 | | H30年度 | | 決算額 (千円) | 予算額 (千円) | 決算額 (千円) | 成果向上 余地はあるか | 評価の理由 | コスト削減余 地はあるか | 事業 評価 | 1次評価(担当者評価) | | 2次評価 | | | | | | |
| | | | 指標 | 単位 | 目標 | 実績 | 達成率 | 目標 | 実績 | 達成率 | 指標 | 単位 | 目標 | 実績 | | | | | | | | 達成率 | 目標 | 実績 | 達成率 | 事業評価 | 評価の理由 | R2年度予算要求の方向性 | | 所属長評価 |
| 施策体系 外事業 | 議員政務活動 支援事業 | 政務活動費は、地方分権による地域裁 量の拡大、行政運営の多様化、高度化 が進む中で、議員の調査活動に必要 な経費の一部を助成することにより、議 会運営の充実、議員の審議能力の向 上、議会の活性化を図るものであり、こ れに係る事務を行っている | 支出状況及 び収支報告 書の公表 | 回 | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 政務活動費 を交付した 人数 | 人 | 24 | 23 | 96% | 24 | 23 | 96% | 5,385 | 6,000 | 4,841 | なし | 政務活動費の使途は 条例等で定められ、そ の範囲内でどのような 活動を行うかは議員の 裁量に委ねられている 。現状としては、十分 に活用されているため 、向上の余地は少ないと 判断される。 | 低 | 伊万里市政務活動費 の交付に関する条例に 基づき交付しており、基 本的に削減の余地はな いと判断されるが、議 員定数削減により、予 算規模は縮小される。 | 維持 | 適切な事務が実施され ており、見直しの必要 はない。ただし、令和元 年度から議員定数が減 となるため、平成30年 度と比較して予算規模 は縮小となる。 | 改選年度ではないため、伊万里 市政務活動費の交付に関する 条例第3条の規定に基づき、年 額25万を支給することになるた め、改選年度である令和元年度 より増額して要求する。ただし、 議員定数は減となるため、平成 30年度よりは減額となる。 *議員1人当たりの年額:250千 円 改選年度(令和元年):225千 円 | 維持 | 条例で規定しており、議員活動 において十分に活用されている ため、維持すべきである。 |